

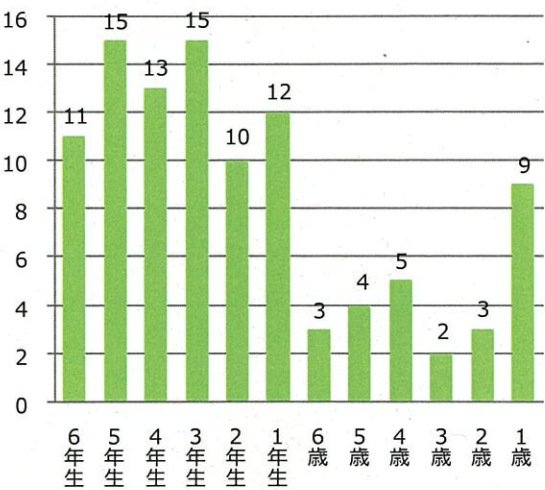
江部乙地区の中学校のあり方に関するアンケート調査結果

【目的】

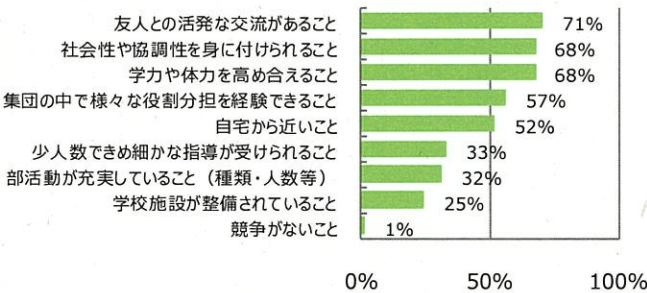
本アンケートは、江部乙地区における中学校の今後の望ましいあり方について、保護者の方の率直なご意見をいただき、次期小・中学校適正配置計画に反映できるよう実施するものです。

調査実施期間	平成30年6月8日（金）～6月22日（金）
調査対象者	小学生以下のお子様を持つ保護者（1世帯1枚）
配布回収方法	郵送 及び 学校を通じて調査票を配布・回収
回収率等	88.46% [配布数：78世帯（124名）、回答数：69世帯（102名）]

1 アンケート回収状況（102名）

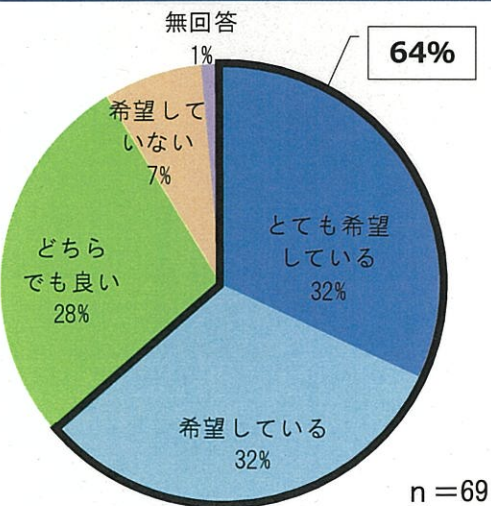


2 お子さんが通う中学校に望むことは何ですか？【複数回答可】

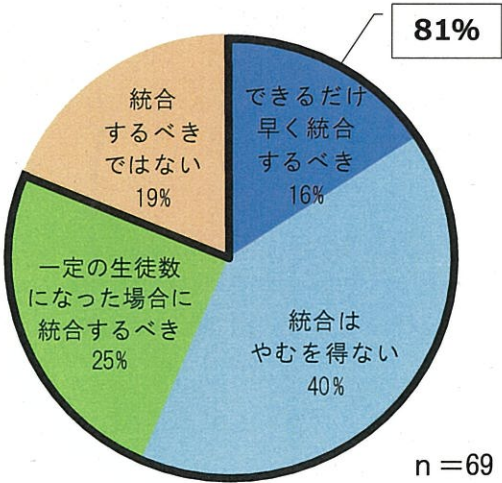


最も多い回答は、「友人との活発な交流があること」、次いで「学力や体力を高め合えること」及び「社会性や協調性を身に付けられること」と続きます。
なお、上位の回答については、集団生活により育まれるものが多く、友人同士が切磋琢磨し、互いに能力を高め合える関係性を望まれていることがうかがえます。

3 江部乙地区の中学校にお子さんを通学させたいと考えていますか？

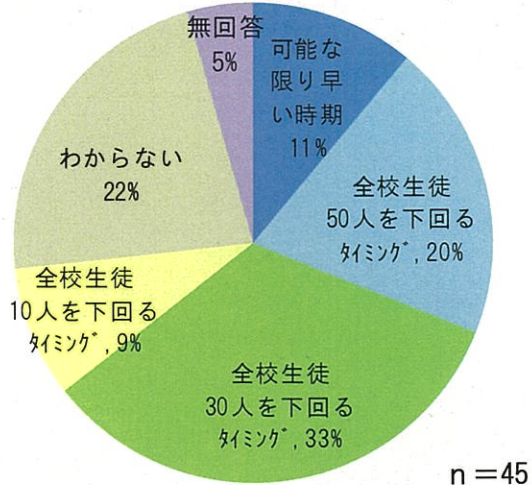


4 中学校のあり方について伺います。

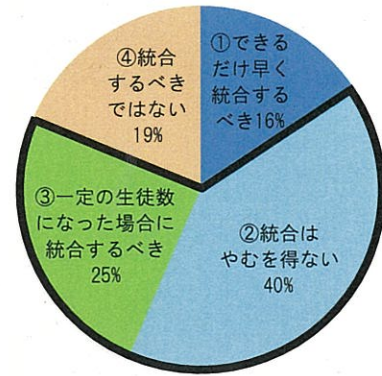


江部乙地区の中学校への通学を「とても希望している」、「希望している」と回答された方が 64%と3分の2程度を占め、一方、中学校のあり方については、「できるだけ早く統合すべき」、「統合はやむを得ない」、「一定の生徒数になった場合に統合すべき」と統合に一定の理解を示す回答が 81%であることから、江部乙地区への通学を希望しつつも、状況によっては、他地区の中学校との統合はやむを得ないと考えている傾向がうかがえます。

5 中学校を統合するタイミングは？



②or③と回答された方のみ

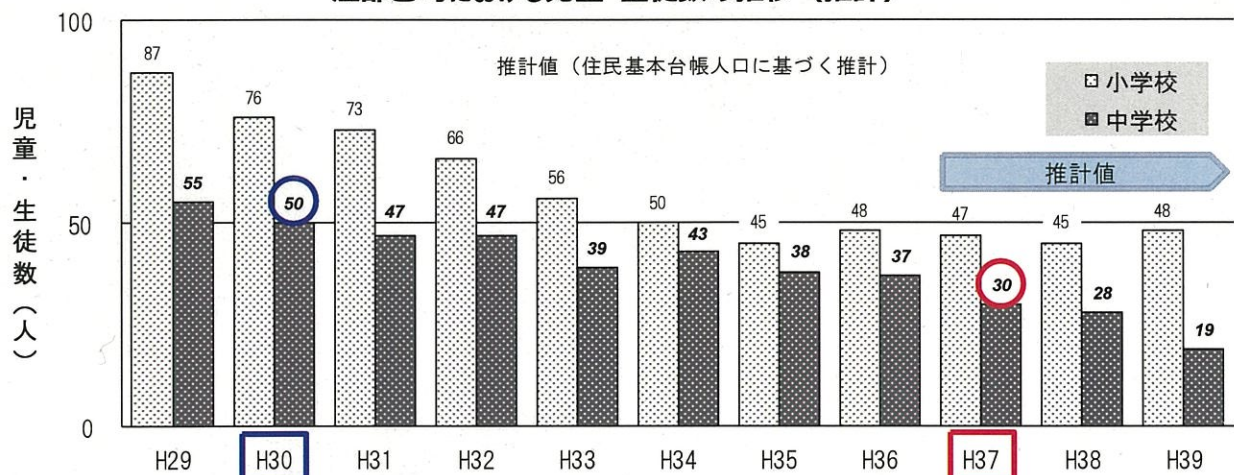


中学校のあり方について

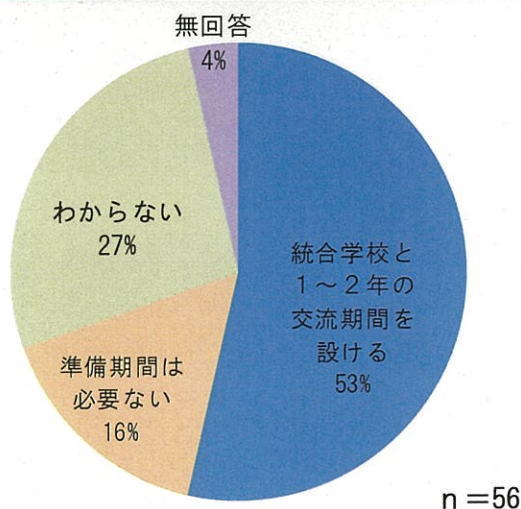
統合のタイミングとして最も多いのが「30人を下回るタイミング」で、推計グラフによると、**平成37年度**以降がその時期になり、次いで多いのが「50人を下回るタイミング」で、**平成30年度**以降がその時期になります。なお、「わからない」、「無回答」が3割弱の状況から、判断しかねている様子もうかがえます。

【参考】推計グラフ

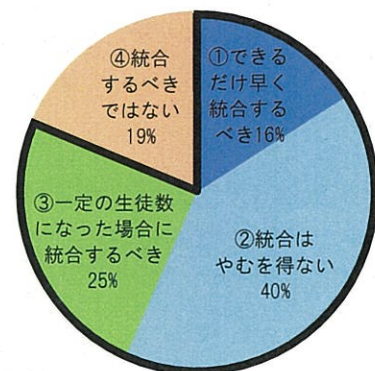
江部乙町における児童・生徒数の推移（推計）



6 統合する際どの程度の準備期間が必要？



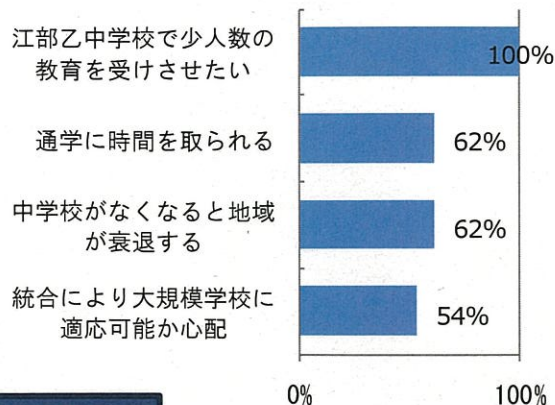
①or②or③と回答された方のみ



中学校のあり方について

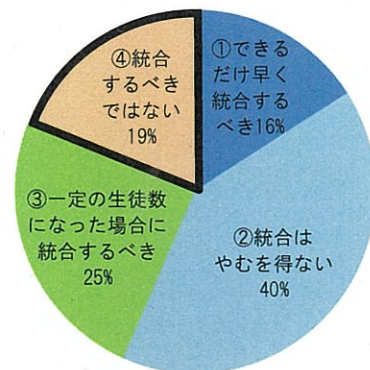
中学校を統合する場合に、どのくらいの準備期間が必要かとの設問に対し、最も多い回答が「1～2年の交流期間を設ける」で5割以上の結果でした。一方で、「わからない」、「無回答」が3割を占めており、準備期間については、判断しかねている様子もうかがえます。

7 統合するべきでないとする理由は？



【複数回答可】

④と回答された方のみ

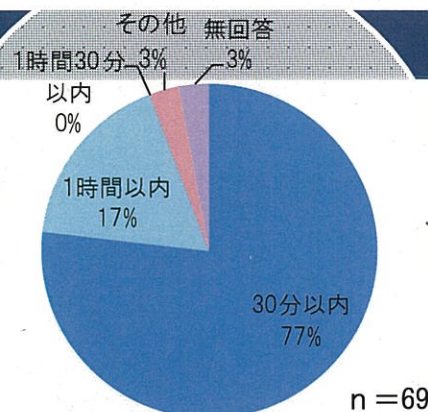


中学校のあり方について

統合するべきではないと回答された方の全員が「江部乙中学校で少人数の教育を受けさせたい」を選択されており、また、その他の項目についても5割以上の方が選択されていることが確認できました。

8 自宅から学校までの時間で通学可能な範囲は？

統合により江部乙地区外の中学校に通うとした場合、「1時間以内」と回答された方が17%に対し、「30分以内」と回答された方は77%と、8割近い状況です。一方、「1時間30分以内」と回答された方は0人であることから、30分を基本に1時間が限界と判断されていることがうかがえます。



n = 69

9 江部乙中学校の今後のあり方について

江部乙中学校の今後のあり方について、自由なご意見を頂戴したところ、6割の方から貴重なご意見をいただきました。その内容については、大きく分けて4項目に分けられます。

① 現状維持（少人数学級）が望ましい

- ▼部活動では団体競技が難しい一面もあるが、設備等を待ち時間なく十分に使える利点がある。
- ▼少人数は、1人1人の個性を伸ばし、思いやりの心を芽生えさせることができ、学習面において目が届きやすい。

② 統合はやむを得ないが心配（要望）

- ▼生徒数減少はどの地域でも問題であり、統合はやむを得ないと思うが、少人数での学校生活を過ごしてきた子どもが大規模な学校に適應できるか心配。また、通学時間の関係から、希望の部活動に制限がかからないか心配。
- ▼通学に際し、時間を要することやスクールバスが自宅まで来てくれるのか心配。

- ▼学校訪問、合同行事、授業など、少しずつ交流する機会を設けた上で統合した方がよい。
- ▼入学時から統合している場合は問題ないが、中2・中3の途中から学校が変わるのは検討すべき。
- ▼通学については、安全・安心に登校できるよう配慮した方法を統合する前に固めて欲しい。
- ▼ほとんどの子が保育所から一緒に、新しい対人関係づくりが苦手だと思う。統合により友達と別々になることで、精神的支えを失い、不登校になるおそれがあることから、統合後においては、全員同じクラスが理想

③ 統合に向けて推進

- ▼人数が少なすぎるため、社会性が身に付きにくい。高校卒業後の生活の変化や滝川市全域で同等の教育を受けられるよう早急に統合すべきだと思う。

④ 小中一貫教育への希望

- ▼通学、問題時の対応、大規模校への適應等を考慮すると、統合ではなく小中一貫教育というのもありだと思う。

総 合 分 析

【江部乙地区の中学校のあり方に関するアンケート調査結果】

全体を通じて、“江部乙地区における児童生徒数の減少傾向”や“小規模校の不利な点”を意識されつつも、「江部乙地区の中学校への通学を希望される方」は6割以上にのぼり、**地域校の存在の大きさが読み取れる結果**となりました。

しかし、そのうち16%が「できるだけ早く統合すべき」、40%が「統合はやむを得ない」、25%が「一定の生徒数になった場合に統合すべき」と回答されていることから、**生徒数減少に伴い、現実的な教育環境としては、統合を選択する傾向が確認**できます。

ただし、統合の「タイミング」や「準備期間」への設問に対して、「わからない」、「無回答」と回答された方が2～3割程度見受けられることから、**統合に係る具体的な方向性については、迷われている様子**がうかがえます。また、将来的な統合に理解を示しつつも、**大規模学校への適応性、通学に係る時間や方法、指導・学習方法等に不安を抱えている様子**もうかがえることから、**詳細な情報が不足しているものと推察**されます。

滝川市教育委員会としての考え

今後については、**具体的な進め方や手法など判断できる情報の提供**に努め、かつ、**地域の皆様との議論を重ね、ご理解いただくこと**によって、「**統合時における不安の緩和・解消**」及び「**安全・安心な教育環境の構築**」に繋げて参ります。